



大丸エナウエン 株式会社

「こんにちわ奥さん」係

〒559-0022  
 大阪市住之江区緑木1-4-39  
 TEL.06(6685)5101  
 ファックス 0120-093-025

<http://living-poppo-garden.jp/>  
<http://effillwater.jp/>



彼岸花

【はじめて】  
 「こんにちわ奥さん」係から

秋の彼岸は、秋分の日（今年は9月23日）を中日とする前後3日間の計7日間です。彼岸とはなんでしょう。サンスクリット語のパラミータ（成就するということの意味）を意訳したものとされています。仏教でパラミータ（波羅蜜多）とは、煩惱の世界を脱し悟りの境地に至ること。これが日本古来の先祖崇拜と融合し、現世を此岸（しがん、こちら側の岸）、先祖の世界を彼岸（彼方の岸）としました。太陽が真西に沈む秋分の日、春分の日には彼岸と此岸とが通じやすくなると考え、その時期に供養することで先祖の冥福を祈り、自らもいつか彼岸に到達するよう願ったのです。だから、彼岸には墓参りをします。彼岸という行事は、他の仏教国にはありません。

日本でショートケーキが売られ出したのは今から100年前。日本の菓子メーカーはおそらく、アメリカ（あるいはイギリス）のショートケーキを参考にしたのでしよう。アメリカでショートケーキと呼ばれる菓子は、ビスケットのような固い生地で作る時に使われるのがショートニング（食用油脂）です。また英語のSHO RTには、短いという意味のほかに、サクサクしたという意味もあります。ショートニングを

ショートケーキの謎  
 サクサクとフワフワ



使うとサクサク感が生まれます。ショートブレッドは、スコットランドの伝統的な菓子ですが、文字通り訳せば「サクサクのパン」。しかし、ショートブレッドといえば、バタークッキーを思い浮かべるのが適切です。このショートブレッドでイチゴとクリームを挟んだ菓子が日本のショートケーキの元祖ともいわれます。

アメリカ、スコットランドいずれが起源にせよ、日本のショートケーキにサクサク感はずゼロ。ショートという言葉をそのまま使ったため、看板に偽りが生まれました。また、日本の場合、スポンジ生地と生クリームが使われていれば、すべてショートケーキ。

ちなみに毎月22日はショートケーキの日。カレンダーでは22の上には15（いちご）が



前回、50度の湯を90秒間かけるカビ退治法を紹介しました。90秒かけるのは浴室の壁に深く入り込んだカビを退治するためでした。90秒かければ1ミリの深さまで50度に達するのです。カビ予防では90秒かける必要はありません。カビは、直接50度の湯がかかると5秒で死んでしまいます。カビの胞子が大きく成長するには1週間から10日かかります。だから、カビが成長する前に1週間に1度、50度の湯を5秒間かければ予防できます。

最後は、天井のカビ対策です。浴室の天井にカビが大繁殖していませんか。胞子が降って、浴室中にカビが生える原因となります。

天井に50度の湯をかけるのはむずかしく、また危険ですから止めてください。

手が届かない天井は、掃除用ワイパーを使います。これにキッチンペーパーを取り付け、消毒用アルコールで湿らせて拭きます。1カ月に1回程度でカビを予防できます。